

還元施設建設アンケート結果出る

みなさまのご協力ありがとうございました

このアンケート調査は、還元施設建設に際して新焼却施設周辺地区にお住まいのみなさまの要望等を反映させるために行ったもので、配布数2542件に対して回収が770件、回収率は30.3%でした。

アンケートの集計結果は還元施設建設協議会や、住民ワークショップで提示して活用しております、みなさまのご協力ありがとうございました。

ちなみに、「還元施設建設計画が進められていることについてどの程度ご存知ですか？」との問いでは、約半数の48%が計画自体は聞いたことがあるとしており、計画について知っている12%を含めると60%を占めることから、還元施設整備に対する関心の高さが伺えました。

なお、紙面の都合上全体の集計結果を掲載出来ませんので、詳しくは組合ホームページをご覧ください。また、各自治会事務局に配布してありますアンケート最終報告書でもご覧いただけます。

住民ワークショップ開かれる

合計5回のワークショップが行われ
還元施設平面イメージ(案)できあがる!!

還元施設の具体的な施設案を検討するための住民ワークショップが5月14日から9月11日にかけて那覇市環境センターにおいて行われました。今回のワークショップには、新焼却施設周辺の南風原町（宮城区、大名区、新川区、東新川自治会）及び那覇市（鳥堀町自治会、県営鳥堀市街地住宅自治会、城東団地自治会）7地区より5～6人の代表者を出してもらい各地区ごとに施設案の検討を行い、最終的には7地区全体の案としてひとつの平面イメージ（案）ができあがりました。

日曜日や、平日の夜からとハードなスケジュールではありましたが、ワークショップに参加されたみなさんは、地域を愛する気持ちで真剣に議論を重ねて案を作り上げました。参加されたみなさま本当にご苦労さまでした。今後はこの案をもとにして那覇市と南風原町の関係機関及び、地域代表者で構成する還元施設建設協議会で協議が行われ、今年中には基本計画書ができあがる予定です。



地区ごとの作業の様子（7月13日）



全体での作業の様子（8月14日）

新ごみ処理施設（工場棟）建設工事

平成15年9月の工事状況写真です



那覇市
清掃工場

工
事
用
汚
水
及
び
濁
水
処
理
プ
ラ
ン
ト
※
2

不
燃
ご
み
ピ
ット
※
1

可
燃
ご
み
ピ
ット

灰
ピ
ット

煙
突

搬
入
道
路
※
3
で
す。
市
道
島
堀
12
号
線
か
ら
ア
ク
セ
ス
で
き
る
よ
う
に
な
り
ま
し
た。

北側より撮影

※1 地下部分の掘削により出た廃棄物は、敷地内で造成用盛土材として再利用するため、臭気防止と飛散防止のためブルーシートをかぶせ、ネットなどで覆い仮置きしていきます。埋戻しの方は、廃棄物と土との重ね合わせで造成を行います。

※2 敷地内の造成工事中に予測できない雨にも対応できるように、沖縄県赤土等流出防止基準に基づき濁水処理プラントを設置し、条例を十分クリアする掘り下げ管理をしています。廃棄物に触れた雨水は、汚水処理プラントにより適正に薬品処理を行います。

なんでだろう???

質問コーナー
Q: 還元施設はどこにできるのですか?
A: 建設場所につきましては、決定しておりません。新ごみ処理施設からの余熱の有効利用や地域住民の利便性を考慮して建設場所が選定されます。

編集後記

2号目から文字を大きくしカラー刷りにしましたので、今までも読みやすくなりました。また、新ごみ処理施設（工場棟）建設工事の工事状況写真を載せました。毎回掲載をお見せすることが出来ると思います。

※この紙は再生紙100%を使用しております。